

The 32nd Annual Meeting of Japanese Society for Breastfeeding Research

第32回日本母乳哺育学会学術集会

Breastfeeding for All

北欧に学ぶ みんなの母乳育児



2017年9月16日(土)～17日(日)

日本赤十字看護大学 広尾ホール

Japanese Red Cross College of Nursing

東京都渋谷区広尾4-1-3

学会長 井村真澄

日本赤十字看護大学大学院
国際保健助産学



連絡先

bforall916@bonyu32.org

第32回日本母乳哺育学会学術集会 事務局

<https://bonyu32.jimdo.com>



第32回日本母乳哺育学会・学術集会

The 32nd Annual Meeting of Japanese Society for Breastfeeding Research

Breastfeeding for All

～北欧に学ぶ みんなの母乳育児～

プログラム

1日目 9月16日(土) 受付 8:30～

9:00-11:45	教育委員会主催勉強会 「女性特有の疾患；乳がん、乳房に関する疾患について」
ランチョンセミナー	「デベロップメンタルケアの中での母乳育児支援」(仮) 大城 昌平(聖隷クリストファー大学) 森口 紀子(高槻病院)
13:10-17:40	会長講演 基調講演 「日本人から見たスウェーデン社会(仮)」 渡辺 芳樹(元スウェーデン大使) シンポジウム I 「北欧の子育て事情と母乳育児」 シャスティン・モウベリ(カロリンスカ研究所) 高橋 睦子(吉備国際大学) 一般演題(口演1) ワークショップ 「液体ミルクの展望(仮)」
17:40-18:00	日本母乳哺育学会総会

2日目 9月17日(日) 受付 8:30～

9:00-	一般演題(口演Ⅱ) 一般演題(示説) 招聘講演 「オキシトシン」 シャスティン・モウベリ(カロリンスカ研究所)
ランチ懇親会	
13:00-	シンポジウムⅡ 「WHO/UNICEF 10か条とBFH」 中村 和恵(国立病院機構岡山医療センター) 他 シンポジウムⅢ 「ハイリスク妊産褥婦新生児の母乳育児支援の現状と課題」 笠井 靖代(日本赤十字社医療センター) 関 和男(横浜市立大学附属総合周産期母子センター) 熊谷 千景(名古屋市立西部医療センター)
16:30-	次期会長挨拶

学術集会参加費：会員10,000円 非会員 12,000円 学生：3,000円

懇親会：平成29年9月17日(日) ランチタイム 会費：1,000円

*準備の都合上、事前に参加登録をお願いします。

*参加登録は、ポスター表にあるQRコード、ホームページより お申し込みできます。

*参加費と会費は、当日集金いたします

*演題の登録は、3月～ホームページにてお知らせします。

*プログラムは講師等の都合により変更されることもありますことをご了承ください。

「Breastfeeding for all ～北欧に学ぶ みんなの母乳育児～」

今回の学術集会のテーマは、「Breastfeeding for all ～北欧に学ぶ みんなの母乳育児～」と致しました。いま、日本では男女共同参画をはじめ、女性が輝く社会づくり、通称女性活躍推進法「女性の職業生活における推進に関する法律（2015）」、「女性活躍加速重点方針（2016）」等が打ち出されています。一方で、女性が仕事をしながら子育てを行う、母乳育児を行うことに対する環境や支援は十分とは言えません。この学術集会では、高い女性の就業率と高い母乳育児率を維持し、男女が共に育児をシェアし、若いも若き赤ちゃんも、そして男性も女性も共に生きている北欧社会に学び、日本の今後の進むべき道と具体策へのヒントを皆さまとともに考えだしていける機会としたいと考えております。

さらに、日本赤十字看護大学の同敷地内にある日本赤十字社医療センターの周産母子・小児センターは、「赤ちゃんにやさしい病院」であるとともに、日本を代表するスーパー総合周産期センターであり、ハイリスク妊娠・分娩・産褥とハイリスク新生児に対する高度な治療を行っている施設でもあります。このようなハイリスクケースに対する、専門家の叡智を集積した母乳育児支援についても、皆様とともに検討する機会となることを期待しております。

この学術集会の成果が、今後の日本の母乳育児のさらなる推進の契機となり、ひいては今後の未来ある赤ちゃんたち、父母、祖父母、地域社会全体の成熟と発展につながることを願っております。企画委員、実行委員一同、学術集会の開催に向けて心をこめて準備をすすめていく所存でございます。

会長 井村 真澄

日本赤十字看護大学

会 期：平成29年9月16日（土）・17日（日）

会 場：日本赤十字看護大学 〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-1-3

学術集会参加費：会員10,000円 非会員12,000円 学生3,000円

懇親会：平成29年9月17日（日）ランチタイム 会費1,000円

*学術集会、懇親会ともに準備の都合上、事前にお申し込みをお願いします。

*事前参加登録方法は、後日ホームページへ掲載いたします。

右のQRコードからも参加登録ができます。

*参加費と会費は、当日集金いたします。



第32回日本母乳哺育学会学術集会 事務局

メールアドレス bforall1916@bonyu32.org

学術集会ホームページ <https://bonyu32.Jimbo.com/>

「Breastfeeding for all ～北欧に学ぶ みんなの母乳育児～」

今回の学術集会のテーマは、「Breastfeeding for all ～北欧に学ぶ みんなの母乳育児～」と致しました。いま、日本では男女共同参画をはじめ、女性が輝く社会づくり、通称女性活躍推進法「女性の職業生活における推進に関する法律（2015）」、「女性活躍加速重点方針（2016）」等が打ち出されています。一方で、女性が仕事をしながら子育てを行う、母乳育児を行うことに対する環境や支援は十分とは言えません。この学術集会では、高い女性の就業率と高い母乳育児率を維持し、男女が共に育児をシェアし、老いも若き赤ちゃんも、そして男性も女性も共に生きている北欧社会に学び、日本の今後の進むべき道と具体策へのヒントを皆さまとともに考えだしていける機会としたいと考えております。

さらに、日本赤十字看護大学の同敷地内にある日本赤十字社医療センターの周産母子・小児センターは、「赤ちゃんにやさしい病院」であるとともに、日本を代表するスーパー総合周産期センターであり、ハイリスク妊娠・分娩・産褥とハイリスク新生児に対する高度な治療を行っている施設でもあります。このようなハイリスクケースに対する、専門家の叡智を集積した母乳育児支援についても、皆様とともに検討する機会となることを期待しております。

この学術集会の成果が、今後の日本の母乳育児のさらなる推進の契機となり、ひいては今後の未来ある赤ちゃんたち、父母、祖父母、地域社会全体の成熟と発展につながることを願っております。企画委員、実行委員一同、学術集会の開催に向けて心をこめて準備をすすめていく所存でございます。

会長 井村 真澄
日本赤十字看護大学

会 期：平成29年9月16日（土）・17日（日）

会 場：日本赤十字看護大学 〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-1-3

学術集会参加費：会員10,000円 非会員12,000円 学生3,000円

懇親会：平成29年9月17日（日）ランチタイム 会費1,000円

*学術集会、懇親会ともに準備の都合上、事前にお申し込みをお願いします。

*事前参加登録方法は、後日ホームページへ掲載いたします。

右のQRコードからも参加登録ができます。

*参加費と会費は、当日集金いたします。



第32回日本母乳哺育学会学術集会 事務局

メールアドレス bforall1916@bonyu32.org

学術集会ホームページ <https://bonyu32.Jimbo.com/>